

# 制度、理念、学知、機能、 そして遺産……。

植民地大学の制度や理念を解明し、  
政治的・社会的文脈のなかに植民地大学の  
機能を位置づけ、実証的研究を基盤に  
その問題の多様性を浮き彫りにする。

# 帝国日本と植民地大学

▼編 酒井哲哉・松田利彦

【執筆者一覧】（掲載順）

酒井哲哉	松平徳仁	石川健治
松田利彦	中生勝美	飯島渉
瀧井一博	松田吉郎	石川裕之
呉密察	陳瑜	浅野豊美
通堂あゆみ	金昌祿	大浜郁子

■A5判／上製／クロス装／函入 ●本体二一、〇〇〇円＋税

2014年  
2月刊行

ゆまに  
書房 YUMANI  
SHOBUN

# 刊行にあたって

本書は、京城帝国大学と台北帝国大学を中心とする日本の植民地大学の制度と理念、学知と機能、そして遺産と外縁を、学際的視点から解明するものである。帝国日本の植民地高等教育機関については、これまで散発的な言及はなされてきたものの、纏まった本格的な研究は限られた範囲でしか存在しなかった。しかしながら、近年ようやく、日本・韓国・台湾において、それぞれの視点から植民地期の知的制度を実証的に解明しつつ、戦後への継承関係を内在的に捉える研究動向が生まれてきている。こうした動向を踏まえ、本書では、実証的な大学史研究としての水準を満たす研究を遂行すると同時に、統治構造や帝國的認識空間の位相を視野に入れた政治的・社会的文脈のなかに植民地大学の機能を位置づけ、問題の広がり多様性を浮き彫りにすることを目指している。また、第二次大戦終結後の韓国・台湾・日本における高等教育機関や学知への影響や、米国州立大学をモデルにして設立されながら復帰後日本の国立大学として編入された琉球大学の事例など、関連する事例との比較史的視点も重視する。

## 目次から

はじめに	酒井哲哉
序章 植民地大学をめぐる研究状況	
植民地大学比較史研究の可能性と課題 —— 京城帝国大学と台北帝国大学の比較を軸として	松田利彦
第Ⅰ部 植民地大学の制度と理念	
植民地帝国大学のエートス —— 台北帝国大学初代総長幣原坦の思想形成	瀧井一博
植民地に大学ができた!?	呉密察
京城帝国大学の創設	松田利彦
京城帝国大学医学部における「医局講座制」の展開	通堂あゆみ
植民地主義と立憲主義の齟齬と共振 —— 二つの「台大憲法学」を素材に	松平徳仁
第Ⅱ部 植民地大学の学知と機能	
台北帝国大学文政学部の土俗・人種学教室におけるフィールドワーク	中生勝美
台北帝国大学文政学部南洋史学の成立と展開	松田吉郎・陳瑜
尾高朝雄と植民地朝鮮	金昌祿
「京城」の清宮四郎 —— 『外地法序説』への道	石川健治
第Ⅲ部 植民地大学の遺産と外縁	
大鶴正満と台北帝国大学 —— ある寄生虫学者の軌跡	飯島 渉
国立ソウル大学校医科大学の成立過程に見る植民地高等教育の「人的遺産」	石川裕之
研究所という装置 —— 学知における戦争と脱植民地化	酒井哲哉
京城帝国大学からソウル大学校へ	
—— ランドグラント大学としてのミネソタ大学による国際協力の展開と戦後日本の特殊な位置	浅野豊美
琉球大学の「日本復帰」	大浜郁子
付録	
1. 植民地大学関連年表 朝鮮編	石川裕之
2. 植民地大学関連年表 台湾編	松田吉郎
3. 植民地大学文献目録 朝鮮編	通堂あゆみ
4. 植民地大学文献目録 台湾編	中生勝美
5. 植民地大学関係アーカイブズ紹介 朝鮮編	通堂あゆみ
6. 植民地大学関係アーカイブズ紹介 台湾編	中生勝美
国際日本文化研究センター共同研究会「帝国と高等教育 —— 東アジアの文脈から」一覧	
あとがき	松田利彦
索引 人名・事項	



〒101-0047  
東京都千代田区内神田2-7-6  
TEL.03 (5296) 0491  
FAX.03 (5296) 0493  
<http://www.yumani.co.jp/>  
e-mail eigyou@yumani.co.jp



## 戦時期朝鮮における「新体制」と京城帝国大学

永島広紀 著 ●定価: 本体9,500円+税 ISBN978-4-8433-3469-0 C3021

ゆまに書房	Tel.03(5296)0491 / Fax.03(5296)0493	年 月 日	※毎度ありがとうございます。お申し込みはぜひ当店へ。
ご注文書	帝国日本と植民地大学	取扱店	
	定価: 本体12,000円+税 ISBN978-4-8433-4456-9 C3021		
お名前			
ご住所	TEL ( )		14.03/01.4000.FR